

開講学科		前橋工科大学 シラバス			
科目名	建設マネジメント	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		3年次	選択	13101301	
担当教員	岡田 恵夫	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	後期	火曜日	4時限
授業の教育目的・目標	マネジメントの目的やその実際を知り、社会基盤整備の意義、それに関わる行政・関連産業の仕組みと役割及び建設事業の一連の流れを理解し、建設に関わる技術者として自らの「未来の夢(ライフプラン)」が語れる。				
学科の学習・教育目標との関係	(2-d) 地域社会や技術分野において問題を発見するための着眼点をもっている。				
キーワード	プロジェクトマネジメント、リーダーシップ、リスクマネジメント、リスクコミュニケーション、アカウントビリティ、組織の社会的責任、土木技術者の役割				
授業の概要	マネジメント資源である「ヒト、モノ、カネ」に関わる基本的な営みを紹介し、建設事業に関わる様々な仕組みとその遂行に関して、マネジメント手法等の論理的な観点とマネジメントの具体的な成功・失敗事例を示し、現状の課題等を解説する。				
授業の計画	<p>第1回： 建設マネジメント (Construction Management) の実際 (建設事業事例を紹介し、建設マネジメント概要を理解する)</p> <p>第2回： わが国建設業の概要 (建設事業の流れ、携わる人々、建設投資)</p> <p>第3回： 建設プロジェクト (プロジェクトマネジメント、建設プロジェクトの特徴、人を動かす能力)</p> <p>第4回： 建設プロジェクトの企画段階でのマネジメント (プロジェクトの企画・計画・資金、事業創成の流れ、「人間の不合理性を知る」)</p> <p>第5回： 建設プロジェクトの設計段階でのマネジメント (設計の基本概念、設計のシステム、「人に流される」理由(わけ))</p> <p>第6回： 建設事業の合意形成 (社会資本整備における計画理論と合意形成、「人々の感情をどう動かすか」)</p> <p>第7回： リスクマネジメント (リスクの本質と現代のリスク特徴を理解する、「自分をコントロールする方法」)</p> <p>第8回： リスクコミュニケーション (リスク・クライシスコミュニケーションとは、「お金」の不思議な物語)</p> <p>第9回： 入札制度とその実際 (入札制度の概要、総合評価方式の実際、「仕事のモチベーションを高める方法」)</p> <p>第10回： 建設を始めるに当って (工事従事者に必要な認識、現地調査、施工計画、地元説明会、苦情処理)</p> <p>第11回： 建設の工程管理と原価管理 (工程管理手法の概要、原価管理手法の概要、「創造力」を鍛える)</p> <p>第12回： 建設の品質管理とそのリスク (Quality Management、Quality Assurance、Quality Control、失敗事例)</p> <p>第13回： 建設の安全管理と注意義務 (安全に関わる基本的な概念、安全と生産性、技術者の「注意義務」)</p> <p>第14回： インフラストラクチャーの維持管理 (インフラ劣化の現状、インフラ整備に対する制約、アセットマネジメント)</p> <p>第15回： 失敗事例を生かす為には・まとめ (社会で発生する”事故・不祥事“の原因分析を試みる、15回の学びを振り返る)</p>				
受講条件・関連科目	建設事業は、私たちの生活に密着しておりニュースでもよく報道される。またよく見ると、私たちの生活の周りにも建設工事や維持管理の仕事が行われている。これらに幅広い関心をもつことで授業の理解が深まる。				
授業方法	講義と事例解説 (パワーポイント及びビデオを使用) また、自己学習のための課題を与える。				

テキスト・参考書	講義時にプリントを配布する
成績評価	期末レポート (30%)、小テスト (1%)、レポート (70%)、その他 (1%) ・ 60点以上を合格とする。
履修上の注意	講義の最後 (10 分間) にレポート作成時間を設けている。成績評価は、レポートの内容 (指定記述量、自分の知識・経験に基づく内容、授業への質問) で行う。